

令和7年度 横浜氷取沢高等学校姉妹校交流（大韓民国）の取組み

1. 姉妹校交流の概要

本校は平成25年7月に大韓民国京畿道始興市（シフン市）にある始興陵谷高等学校（シフンヌンゴク高等学校）と姉妹校協定を結び、交流を続けてきた。

令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染症が拡大したため、ホームステイをメインとする相互訪問による交流を一時停止し、オンライン会議システム（Zoom）を使用したオンラインによる交流を行ったが、令和5年度に相互交流が再開し、以前同様夏に本校生徒が訪問し、12月に始興陵谷高等学校生徒が来校する形式での交流を行っている。

2. 令和7年度の取組み

（1）概要

取組時期	内容
4月中旬	生徒向けの説明会実施、募集開始
5月中旬	書類選考・面接
6月中旬	韓国語講習会（～7月下旬）
7月3日	オンライン交流
8月19日	始興陵谷高等学校訪問（～8月22日）
12月17日	始興陵谷高等学校来校（～12月19日）

（2）韓国姉妹校訪問

本校から始興陵谷高等学校への訪問についての詳細は次のとおりである。

- ・本校の参加者：1年生4名、2年生6名、3年生6名（計16名）
- ・始興陵谷高等学校のバディホームステイ受入生徒：16名
- ・詳細

日付	時間	内容
8月19日 (火)	午前 午後 夕	・東京国際空港（羽田空港）から空路で韓国の金浦空港に到着 ・ソウル市内の国立中央博物館の見学 ・ソウル市内のホテルに宿泊
8月20日 (水)	午前	・バスで始興陵谷高等学校に移動 ・対面式（両校校長の挨拶、両校生徒代表の挨拶）
8月20日 (水)	午前 昼 午後 夕	・体育（レクリエーション）の授業に参加 ・技術（人工知能の機械学習について実践体験）の授業に参加 ・音楽（SunoとChatGPTを使った音楽創作）の授業に参加 ・学食にて給食 ・外国語（韓国語・日本語・英語・中国語）の授業に参加 ・韓国伝統工芸品の作成 ・歓迎公演（ダンス部・バンド部・横浜氷取沢高校の公演） ・ホームステイ先でホストファミリーと過ごす
8月21日	午前	・蓮の池テーマパークの散策（始興市の文化体験）

(木)	昼 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・華城行宮の見学（伝統文化体験活動） ・韓国の伝統的料理 ・スターフィールドで班別活動（現代文化体験） ・ホームステイ先でホストファミリーと過ごす
8月22日 (金)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・送別式 ・ソウル市内へ移動 ・ソウル市内での班別自主行動 ・金浦空港から空路で東京国際空港（羽田空港）に到着

(3) 韓国姉妹校の来校

本校への始興陵谷高等学校の訪問についての詳細は次のとおりである。

- ・バディホームステイ受入生徒：1年生4名、2年生6名、3年生6名（計16名）
- ・始興陵谷高等学校の参加者：16名
- ・詳細

日付	時間	内容
12月17日 (水)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・バディ生徒による歓迎会とオリエンテーション ・音楽（琴）の授業への参加 ・国際交流委員との交流会 ・歓迎会（本校校長・韓国教頭挨拶・生徒代表挨拶、学校紹介） ・日本の文化体験（茶道） ・記念品の制作（色紙作り） ・ホームステイ先でホストファミリーと過ごす
12月18日 (木)	終日	<ul style="list-style-type: none"> ・江ノ島・鎌倉での班別自主研修 ・ホームステイ先でホストファミリーと過ごす
12月19日 (金)	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎会（本校校長・韓国教頭挨拶・代表生徒挨拶）

5. 韓国交流委員の感想（抜粋）

◆生徒A【1年生】

韓国の昔からの伝統的な文化や代々語り継がれている歴史を学びました。外国と関わっていくことにおいて、その国の持っている特性や考え方を尊重するべきだと考えました。今後の学校生活でも、常に他者と意見交換を行う際にも、個人の意見を受入れ、価値観を認め合うことを心掛けていきたいと思いました。

◆生徒B【1年生】

私は言葉が通じること以上に、相手を理解しようとする気持ちが国境を超えた交流をしていく上で大切だと感じました。言語や文化が違っても、お互いを思いやる気持ちと理解

しようという気持ちで、心はつながることを実感しました。

◆生徒C【2年生】

話している言語や住んでいる国は違うけれど、同じ高校生として今後の世界を一緒により良くしていくために、実際に訪問し交流する機会があるのは素晴らしいことだと思いました。今回得たものは自分だけのものにせず、周りの友達にも伝えて、みんなが世界について興味を持ち、学び、より良い世界を作りたいと思います。私自身も交流前よりもっと韓国に興味を持つことができ、韓国だけでなくその他の国にも目を向けていきたいなと思いました。

◆生徒D【2年生】

姉妹校訪問をして、外国語を学び実際に使って会話することの楽しさを知り、将来は韓国語や英語を活かして国際的に人と関わる仕事に就きたいという思いが一層強まりました。異なる文化や価値観に直接触れることで、自分の視野が広がり、将来の国際的な学びを得て、私の高校生活の目標の「他文化に触れることで多様な価値観を持ち、自分の生きている世界が全てではないというグローバルな視点を持つ」を実現する第一歩になったと感じています。

3. 今後の展望

本年度も相互交流という形で訪問・受け入れを実施することができた。本年度の訪問でも、姉妹校の授業に参加し、ホストファミリーバディ生徒と給食を共にとるなど、韓国での高校生活を体験することができた。生徒主催の歓迎会で、親交を深めることができた。

また、本年度の受け入れにおいては、全校生徒で姉妹校生徒の歓迎会を実施した。生徒たちが韓国語に触れ、姉妹校についての理解を深める機会となった。国際交流委員会主催の交流会やホストファミリーバディ生徒との記念品制作・校外学習を通して、生徒たちは韓国に対する理解を深め、新たな見識を広げることができた。

令和8年度以降も、引き続き相互訪問を実施して、日韓の友好を深めていきたい。